

CN推進に向けた人材育成 ～ 工業研究所の取組内容 ～

導入機器等

Case1 データ収集解析システム

- ・ 企業でのCO2排出量の見える化（データ収集）
各設備の電流測定からCO2排出量換算
Ex. 製造ライン（複数設備）

- 工場全体の購入電力量からのCO2排出量換算
↓ ステップアップ
- 設備単位や製造ライン単位の電力量を把握し
 - ・ CO2排出削減に向けた課題を分析
 - ・ 具体的な改善策の検討

消費電力が大きい設備や周辺設備（コンプレッサなど）等の電力量を一定期間測定し、改善箇所や改善策を検討

CTセンサーを設置し、電流測定からCO2排出量換算

電流値から簡易的に電力量を計算し、係数を掛け合わせ、CO2排出量換算

※CO2排出係数（kg-CO2/kWh）
例）中部電力ミライズ 0.388

Case2 データ収集・画像解析システム

- アナログメータなど既設設備の情報を活用
・ 画像処理によるデジタルデータ化など

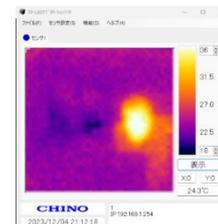


Case3 データ収集・熱画像解析システム

- 熱利用の現場での利用を想定
 - ・ 断熱や保温保冷効果の見える化、改善効果の検証
 - ・ 温度監視による省エネ対策など



小型熱画像センサ(サーモパイル)



サーモグラフィー

具体的な取組の流れ

企業訪問
技術相談

技術相談

社内で具体的な
取組の試行へ

※スポット対応
まずは、お試しで測定

技術支援（技術者育成型）

※費用は無料

※例えば、1か月程度の期間で、電流センサ（CT）の場合、1回の測定を1週間程度として、複数回測定することで現状把握や改善効果の検証などに取り組む

データ収集
見える化

課題把握

改善策
検討